

中村敬字『英華和訳字典』の典拠

宮田和子

要 旨

K. Nakamura's 『英華和訳字典』 published in 1879 is known as one of the two Japanese editions, the other being T. Inoue's 『訂増英華字典』, and the source of which is W. Lobscheid's 『英華字典』 (1866~1869). In defining the meaning of words, 『英華和訳字典』 often adds some supplementary explanations, such as:

Areometer: リウドウブツ (ミヅモノ) ノマチマチノオモサヲハカルダウグ

Labyrinth: ツウロヲキョクセツシテ ヒトヲシテデイリニマヨハシムルツクリヤ

The English expressions equivalent to these explanations, are found in Webster's dictionaries, then spread among the Japanese intellectuals.

Areometer: an instrument for measuring the specific gravity of liquids

Labyrinth: an edifice or place full of intricacies, or formed with winding passages, which rendered it difficult to find the way from the interior to the entrance

ロブシャイト (W. Lobscheid) 『英華字典』 (1866-69 LOB と略称) は英華辞典の集大成とされているが、その実態はいまだに謎である。LOB を原著とする日本版のひとつに井上哲次郎『訂増英華字典』(初版:明 16-18 井上 と略称)があつて、その増補訳語(漢字語)の出典は主として英華辞典類であること、増補された英語の典拠は英華辞典類とウェブスターであること、大量の Appendix の供給源はドーリトル (J・Doolittle) 『英華萃林韻府』 (1872) であることは、すでに明らかになっている (宮田 1999、2000)。本稿の目的は、もうひとつの日本版、中村敬字『英華和訳字典』(初版:明 12 中村 と略称)とウェブスターの関連をさぐることである。

内閣文庫には大量のウェブスターが保管されている。急速な近代化をめざす明治政府が 500 冊を注文、うち 100 冊が内閣文庫に残っているとされるが (早川 2001-383, 384)、こうした大規模な国家事業が当時の知識人のウェブスターに対する憧憬の念をかきたてたであろうことは想像に難くない。明治期に相次いで発行された英和辞典類は、多かれ少なかれウェブスターの影響を受けていた。そうした潮流のなかにあつて、中村だけが例外だったとは考えにくい。

メリアム社が刊行したウェブスター大型本はグッドリッチが単独で編集していた 1864 年以前 (改訂前と略称、本文 1281 ページ)と、ポーターが加わつて大改訂を行った 1864 年以後の版 (改訂後と略称、本文 1538 ページ)とで編集方針は大きく変わるが、語釈の異同はさほど目立たない。これにリピンコット社が出した中型の簡約版 (簡約と略称、本文 1152 ページ)が加わる。

改訂前と簡約はいずれもグッドリッチの単独編集で、かなりの部分が共通である。改訂前、改訂後、簡約いずれも英国で歓迎され、版を重ねた¹。

1 中村が削除した部分

中村は津田仙、柳沢信大、大井鎌吉の3人が翻訳を担当した。跋に「余校此書 始於明治五年十二月 畢於明治十二年二月」とあるので、敬宇は6年余をかけて校訂したことになる。中村がLOBの中国語訳のすべてを採用したわけではないことは森岡1969-70~72で指摘されており、省かれたものの多くは方言的接辞や語彙であった(沈1994-183)。同時に中国的色彩の濃い下位語も削除の対象とされている。つぎに示すのはLOBに採録された訳語、下線を付したものは中村が削除した訳語である。

Agar Agar : edible seaweed 海藻 ; ditto the red kind 紫菜 ; prepared ditto 涼菜 ; ditto the large kind 石花菜 ; the broad kind 海带

Lady: a woman of distinction 夫人、娘 ; a young lady of rank 小姐 ; an unmarried lady of a rich family 姑娘、娘仔 ; lady, the wife of an officer of rank 太太 ; ditto the mother of an officer of rank 老太太 ; the old lady 阿太 ; a lady of the first and second rank 夫人 ; ditto of the third rank 淑人 ; ditto of the fourth rank 恭人 ; ditto of the fifth rank 宜人 ;

また中村はLOBの見出し語の一部を削除している。中国特有の動物(Acridophagus 食蝗虫者)や植物(Abrus precatorius 紅相思、相思荳 ; Agapanthus 百子蓮)に関わるものが主なようだが、選択基準ははっきりしない。重複した見出し語の一方を削除したり、フレーズ形の見出し語を改めたとみられるもの(Atoning for sin→Atoning)もある。増補した見出し語²もいくらかあり、品詞の表記、特に動詞の自他の判定はウェブスターに拠るとみられるものが多い。

英和辞典類との関連もみなければならないが、当時最大の英和辞典と目される柴田昌吉・子安峻『附音挿図 英和字彙』(1873 横浜日就社、初版)にしても、中村に比べれば見出し語も用例も少なく、ほとんど語釈に終始しており、敬宇が中村の編纂に利用した可能性は低い。『増補訂正 英和字彙』が出るのは、中村の出版後3年経ってからのことである。

2 中村が増補した部分

中村には‘Laboratory, a place where operations and experiments in chemistry are performed クワガクノケイケンジョ (化学経験所)’のように、LOBには記載されていない英語を増補して和訳(時に漢訳)した部分がある。和訳のもとになった英語の供給源はウェブスターであり、この例のように中村に明示されているものばかりではなく、明示されていないものもある。

改訂前は印刷状態がきわめて悪く判読に苦労した。一方簡約は改訂前と同じグッドリッチの単

独編集であるだけに、おおむね改訂前を圧縮してつくられているので、共通の記述が大部分を占める。そこで調査の際には簡約を先行させ、改訂前については異なる個所を判読して補うという方法をとった。調査範囲は [A] [F] [L] [R] [X-Z] の各部とした。次に示すのは調査結果の一部である。

2- (1) : 中村に明示された英語（下線で示す）

中村と同じ英語があるものは＝、全部あるいは一部がないものは≠で表す。

Areometer: An instrument for measuring the specific gravity (of liquids) 註³ リウドウブツ（ミヅモノ）ノマチマチノオモサヲハカルダウグ

簡約＝ 改訂前＝ 改訂後＝

Arquebuse: a species of fire-arms anciently used which was cocked with a wheel ムカシノクルマジカケニテウツテツボウ

簡約＝ 改訂前＝ 改訂後≠⁴

Aversely: an arm stretched aversely 反臂 テヲウシロニノバス

簡約≠ 改訂前＝ 改訂後≠⁵

Axiom: a principle received without new proof シンキノシヤウコナシニツタハリキタルダウリ

簡約≠ 改訂前＝ 改訂後≠⁶

Figurable: lead is figurable, but water is not 鉛可成形水則不可 ナマリハカタチヲツクルベシミヅハカタチヲツクルベカラズ

簡約≠ 改訂前＝ 改訂後＝⁷

Foil: a thin coat of tin with quicksilver, laid on the back of a looking-glass, to cause reflection 鏡背錫汞薄衣 カガミノウラノミヅカネ

簡約＝ 改訂前＝ 改訂後＝

Fork: to divide into two branches 分二枝 フタミチニワカレル

簡約≠ 改訂前≠ 改訂後＝

Lapse: The lapse to indolence is soft and imperceptible, but the return to diligence is difficult 流於怠惰易帰於勉強難タイダニナガルルハヤスク ベンキョウニモドルハカタシ

簡約≠ 改訂前＝ 改訂後＝

Less: The less a man praises himself, the more disposed are others to praise him ミヅカラホメルコトイヨイヨスクナケレバ ヒトノカレヲホメルコトハカナラズイヨイヨオホシ

簡約≠ 改訂前＝ 改訂後≠⁸

Lion: an object of interest and curiosity 珍宝 チンポウ、メヅラシキタイセツノモノ ; to visit the lions of the place 行訪他方之珍宝 トコロノチンポウヲタヅネアルク

簡約＝ 改訂前＝ 改訂後＝

英語の表現は異なるが、中村がウェブスターを要約したと思われる例 ([A] 10例、 [L] 5例)もある。

Airy: light and airy (as a dress) シナヤカデズシキ (ナリナドガ)

改訂前＝ : Light as air, resembling air; thin; unsubstantial; without solidity. An airy dress is one which admits air and is cool

簡約≠ 改訂後≠⁹

次は中村に明示された英語とウェブスターの一致率を示す。改訂前が88.3%と最も高い。

(表1)

	[A]	[F]	[L]	[R]	[X-Z]	計	中村との一致率
中村	153	24	112	1	0	290	100%
簡約	115	11	90	0	0	216	74.5%
改訂前	138	17	101	0	0	256	88.3%
改訂後	101	19	84	1	0	205	70.7%

簡約、改訂前、改訂後にそれぞれ独自に現れるものの数をつぎに示す。

(表2)

	[A]	[F]	[L]	[R]	[X-Z]
簡約	1	0	0	0	0
改訂前	7	0	1	0	0
改訂後	1	5	0	1	0

(表2)の例はつぎの諸項目にそれぞれ1例ずつ(‘Arrow’には2例)現れる。

簡約 : [A]Atlantic

改訂前 : [A]Arrow, Airy, Arse, Assortment, Augur, Axiom; [L]Less

改訂後 : [A]Attraction; [F]Fill, Fly, Follow, Fork, Fossorial; [R]Realize

2- (2) : 中村に明示されなかった英語

つぎは中村の和訳(下線で示す)に対応する英語が明示されていない例である。2- (1)と同じく簡約を基準として、簡約と一致する英語には＝を、ほぼ一致するものには≐を付した。中村の和訳に対応しないものには≠をつけたうえで、不足部分を－で示した。また簡約が和訳に対応しない場合は、対応する英語を該当個所に示した。調査結果の一部をつぎに掲げる。

Adolescence: 男八十四ヨリ二十五マデ女八十二ヨリ二十一マデラ云

改訂後＝ : the years between the years of 14 and 25 in man, and of 12 and 21 in woman

簡約≠ 改訂前≠¹⁰

Aeronaut: フウセンニノルヒト

改訂前＝ : One who sails or floats in the air; an aerial navigator; applied to persons who ascend in air

baloons

簡約≠(-applied to persons who ascend in air baloons)

改訂後= : An aerial navigator, a baloonist 註¹¹

Agalmatolite: ゾウヲキザムヤワラカキイシノナ

簡約= : A soft stone, carved into images in China, and hence called figure-stone

改訂前= 改訂後=

Air-bladder: ウヲノタイナイニアルウキブクロ

簡約= : the bladder of a fish containing air, by which it maintains its equilibrium in the water

改訂前≡ 改訂後≡

Ammonia: 水素四分窒素一分ヲ含ムモノ 註¹²

簡約 : It is composed of three equivalents of nitrogen and one of hydrogen

改訂前 : nitrogen→hydrogen; hydrogen→nitrogen

改訂後 : nitrogen→hydrogen; hydrogen→nitrogen

Anotta: チイス (乾酪) マタハボウトル (牛酪) ニウヘモノノタネカラセイシタル イロヲツケルモノ

改訂後= : A species of red or yellowish-red dyeing material, prepared from the seeds of a tree (*Bixa orellana*) belonging to the tropical regions of America. It is used for coloring cheese, butter &c.

簡約≠ 改訂前≠ (-It is used for coloring cheese, butter &c) 註¹³

Anteater: クチバシナガクシタルク アリヲクツテイキルケモノ

改訂前= : Names applied to a species of a genus of quadrupeds that feed on ants. These animals have no teeth, but a snout or muzzle, with a long cylindrical tongue.

簡約≠ 改訂後≠ (-These animals.....a long cylindrical tongue) 註¹⁴

Factorage: テダイアルヒハセハニンノキフリヤウ

簡約= : The allowance given to a factor by his employer, as a compensation for his services; called also a commission.

改訂前= 改訂後=

Finger-post: ユビサシ (ミチシルベニタテオクモノ)

簡約= : A post with a finger pointing for directing passengers to the road.

改訂前= 改訂後=

Flying-bridge: ヘイシガノリテトビメグルハシ

改訂前= : A means used by armies for crossing rivers in rapid movements. It is sometimes a bridge.....and sometimes a large, flat-bottomed boat, anchored up stream, which is made to pass like a ferry-boat from one side of a river to the other, by the force of the current.

簡約≠ 改訂後≡

Landgrave: ゼルマンニオイテジャウトウノハクシャク

簡約= : A title taken by some German counts in the twelfth century, to distinguish themselves from the inferior counts under their jurisdiction

改訂前= 改訂後≡

Leap-frog: イチニンミヲカガメテ イチニンテヲソノカタニカケテ ヲドリコエルコドモノアソビ

簡約= : A play among boys, in which one stoops down and another leaps over him by placing his hands on the shoulders of the former

改訂前= 改訂後=

Left-handed marriage カトウノオンナヲメトルコト (日耳曼国君娶下等之女則其妻子不得襲其爵土)

簡約= : among German princes, a marriage with a woman of inferior rank, in which it is stipulated that she and her children shall not enjoy the rank or inherit the possessions of her husband

改訂前= 改訂後≡

Rear-admiral: カトウスイシテイトク (水軍第三ノ分隊則チ全軍ノ後隊ヲ指揮スル官)

改訂後= : An officer next in rank after the vice-admiral, and who commands the third or last division of a fleet

簡約≠ 改訂前≠

Reemng: フネノワレメニマイハダヲカフタメニ アナヲアケルコト

簡約= : The opening of the seams between the planks of a vessel with a calking-iron, for the purpose of calking or recalking them with oakum ^{註15}

改訂前= 改訂後=

Romepenny: イチペンニイノミツギ (羅馬教徒ヨリ其ノ教主ニ納ムルモノ)

簡約= : A tax of a penny on a house, formerly paid by the people of England to the Church of Rome

改訂前= 改訂後=

Xyster: ホネコサギ (外科ノ用具)

簡約= : A surgeon's instrument for scraping bones

改訂前= 改訂後=

Yulan: ギョクラン (支那産)

簡約= : A beautiful flowering tree of China

改訂前= 改訂後=

Zirconium: ジルコニウム (悉爾個紐母, 金属元素ノナ)

簡約= : The metallic base of zirconia

改訂前 = 改訂後 ≡

中村に明示されなかった英語を集計し、中村との一致率を計算すると、つぎのようになる。ここでも改訂前が 89.5% と最も高い。

(表 3)

	[A]	[F]	[L]	[R]	[X-Z]	計	中村との一致率
中村	85	102	114	69	21	391	100%
簡約	57	90	101	49	15	312	79.8%
改訂前	71	100	110	52	17	350	89.5%
改訂後	62	100	93	54	14	323	82.6%

簡約、改訂前、改訂後にそれぞれ独自に現れるもの数をつぎに示す。

(表 4)

	[A]	[F]	[L]	[R]	[X-Z]
簡約	0	0	0	0	0
改訂前	2	0	1	0	0
改訂後	3	0	2	5	0

(表 4) の例はつぎの諸項目にそれぞれ 1 例ずつ現れる。

簡約：-

改訂前：[A]Asp, Axis; [L]Loan-office

改訂後：[A]Absorbents, Adolescence, Anotta; [L]Leviticus, Lycoperdon; [R]Rear-admiral,
Real, Regulator, Remora, Revenue

ほかに[A]ではヘボン『和英語林集成』第 2 版から 3 例 (Alias, Amen, Aphrodisiac の各項に 1 例ずつ)、LOB の脚注から 1 例 (Automasy)、[L]ではメドハースト『英華字典』から 1 例(Linden-菩提樹)、『和英語林集成』第 2 版から 1 例(Lonicera japonica-ニンドウ忍冬)が引かれている^{注16}。[F][R][X-Z]にはこうした例はない。

(表 1) と (表 3) が示すように、ウェブスターと中村との一致率は改訂前が最も高く、中村が補足した英語と和訳は、主として改訂前に依拠していることがわかる。ただし (表 4) では独自の例において改訂後が改訂前を上回っている。このことは中村が改訂前について改訂後を多用したことを物語る。成蹊大学図書館の中村文庫には改訂前と改訂後が保管されているが (高橋 1979)、これは敬宇が両書を直接利用したことを示す有力な傍証となる。

なお ‘Robinia’ の語釈に「キノナ (北亜米利加ノ)」とあり、これに対応する英語 ‘A genus of North American trees,……’ はオーグルビーの *Imperial Dictionary* (大型 2 巻本で本文 2,300 ページ) と *Comprehensive Dictionary* (中型 1 巻本で本文 1206 ページ) にしか現れない。前者は中村文庫に所蔵されているので、参照したのはたしかだろうが、百科性の強い同書を敬宇が中村において多用したとは考えにくい。

LOBになかった品詞表記を中村はウェブスターを参考にして復活させた。しかし品詞の数は当時の流行にしたがって、8品詞におさめることを目標にしたようである。井上もこの姿勢を受け継いだ。個々の語の品詞の判定には、中村との間にはかなりの相違がある。両書とも LOB に軸足を置いているので、ウェブスターを参考にするといっても、そこには自ら限界があったとみなければならない。用例は自動詞なのに品詞表記を他動詞とするなど、両書ともズレがある。

まとめ

中村の和訳(時に漢訳)には原著 LOB の語義に補足的説明を加えた部分がある。依拠した英語には、中村に明示されているものと、いないものがあるが、いずれもウェブスターが供給源である。中村の増補には主として改訂前が使われたが、改訂後、簡約さらにヘボン『和英語林集成』第2版と先行英華字典類(注16参照)が補助的な役割を演じたと考えられる。

明治期の日本の辞書界においてウェブスターは決定的な役割をはたした。ウェブスターに導かれて誕生した英和辞典類は中国に渡って英漢辞典類の発展を促した。日中語彙交流の媒体としてのウェブスターの役割は再評価されて然るべきものと思う¹⁷。

注1 グッドリッチによる改訂は1847年にも行われ(メリアム社刊行の最初の版)、この時点で収録語数85,000語となった。1859年に小規模の改訂があったが、基本的には1847版と変わらない。メリアム社はさらなる大改訂を企画、ノア・ポーターを編集主幹とし、1864年に出版した大辞典はアメリカ英語の最高権威と認められた(早川1998-79-107)。

注2 見出し語‘Flinder-mouse’は LOB にはなく、中村が増補したもので、改訂後にみえる。ウェブスターの影響が中村の見出し語にまで及んでいることがわかる。

注3 簡約、改訂前、改訂後のいずれにも‘An instrument for measuring the specific gravity of liquids’とある。中村は‘of liquids’を省いているが、これは「リウドウツ(ミツモノ)」に対応する部分であり、中村が3書のいずれかを参照したことは明らかである。

注4 改訂後には‘an old species of fire-arm resembling a musket, and supported upon a forked rest when in use’とあって中村と異なるうえに、「クルマジカケ」に対応する部分を欠く。

注5 簡約には‘with repugnance, unwillingly’、改訂後には‘in a backward direction; with repugnance, unwillingly’とあって中村とは異なるうえに、「テヲウシロニノバス」の「テ(手)」に対応する部分がない。

注6 簡約には‘A self-evident truth, or proposition whose truth is so evident at first sight, that no process of reasoning or demonstration can make it plainer’とあり、改訂後には‘that which is thought worthy, that which is assumed, a basis of demonstration, a principle’とあって、いずれも中村と一致しない。また中村の「シンキノシヤウコナシニ」にも対応していない。

注7 簡約は‘Figurable’の語釈を載せるのみで中村と同じ用例はない。

注8 改訂後には‘Less’に定冠詞のつくものは‘The less is blessed of the better’のような名詞用法があるだけで、中村のような副詞用法の用例はない。

- 注9 改訂前は後半に ‘An dress is one which admits air and is cool’ とあるが、簡約と改訂後にはない。要約の ‘as a dress’ を導き出すにはこの後半部分が必要である。
- 注10 ‘Adolescence’ の年齢を具体的に記載したのは改訂後だけであり、簡約と改訂前は語釈を掲げるのみ。
- 注11 簡約の前半は改訂前と同じだが、後半の ‘applied to persons who ascend in air balloons’ が欠けているので (-)、「フウセンニノルヒト」には対応しない。改訂後は ‘An aerial navigator, a balloonist’ と簡単だが、「フウセンニノルヒト」には充分対応している。
- 注12 中村には ‘(水素) 四分’ とあるが、英語は ‘three equivalents’ となっているので、‘四分’ は中村の誤訳と思われる。また ‘Attributable’ の項に ‘the fault is not attributable to the another’ と中村にあるがこれも誤りで、‘another’ に定冠詞がつくことはありえない。中村は ‘author’ を ‘another’ と誤記しただけでなく、「アヤマチハタジンニカプセルベカラズ」と和訳したことで、二重の誤りを犯している。
- 注13 簡約も改訂前も後半が欠けており、「チイス（乾酪）マタハバウトル（牛酪）ニ」に対応する部分がない。不足部分は(-)で示した。
- 注14 「クチバシナガクシタルク」に対応するのは ‘These animals.....a snout or muzzle, with a long cylindrical tongue’ だが、簡約、改訂後ともこの部分を欠く。
- 注15 ‘マイハダ’ は ‘捲絮’。『和英語林集成』に ‘The inner bark of the hi no ki, used as oakum for caulking boats’ とある。
- 注16 荒川 1998-50 に LOB が出典を注記した訳語が載っているが、その一部はメドハーストとモリソンからのものであり、LOB と先行英華辞典の影響関係の一端をうかがうことができる。一方中村がとりあげたメドハーストの ‘Linden-菩提樹’ は LOB の記述をそのまま写したに過ぎない。しかし中村が増補した ‘Flail’ の項の「打穀具」、‘Frontlet’ の「包頭王」はメドハースト『英華字典』にあり、同じく ‘Frontlet’ の「雲額」はウィリアムズの『英華韻府歴階』に現れる。こうした例はごくわずかではあるが、中村が先行英華字典類を参考にした証拠として注目しておきたい。
- 注17 竹中 1983 によれば、日本で最初にウェブスターの影響を受けたのは、小幡篤次郎・甚三郎兄弟による『英文熟語集』（慶応 4）であるという。『薩摩辞書』第 3 版（明治 2）と第 4 版（明治 4）の序にもウェブスターを参照した旨の記載があるが、いずれも規模が小さいので、本稿ではとりあげなかった。なお『英和字彙』とウェブスターの関係については、早川 2001-85 以下を参照。附音、挿図、見出し語の決定にいかにかウェブスターが関わっているかを詳細に論じている。

参考文献：

- 勝俣銓吉郎 1940 「徳川時代の洋書」『学燈』丸善
- 大阪女子大学附属図書館 1962 『大阪女子大学蔵・日本英学資料解題』大阪女子大学
- 井田好治 1966 「英文法訳語の発達——特に八品詞を中心として——」『言語科学』2号 九州大学
教養学部
- 高橋昌郎 1966 『中村敬宇』吉川弘文館
- 森岡健二 1969 『近代語の成立』明治書院（改訂 1991）

- 永嶋大典 1970 『蘭和・英和辞書発達史』講談社
- 高橋俊昭 1979 「文明開化の蔵書目録——「敬字文庫洋書総目録」「中村正直先生文庫図書目録」について——」『成蹊論叢』第18号 成蹊中・高等学校編
—— 1991 「中村敬字と英語辞書」『英学史研究』第24号 日本英学史学会
- 竹中龍範 1983 「小幡篤次郎・小旗基三郎『英文熟語集』とウエブストル氏字典」『英学史研究』第16号 日本英学史学会
- 吉村善太郎 1986 「英和・和英辞書の発達——京都外国語大学附属図書館所蔵の資料を中心として——」『京都外国語大学研究論叢』27号
- 湯浅茂雄 1991 「『増補訂正 英和字彙』の訳語——特に増補された訳語の典拠を中心に——」『改訂 近代語の成立 語彙編』第16章 明治書院
- 沈国威 1994 『近代日中語彙交流史』笠間書院
- 早川勇 1998 『ウェブスター辞書と英和辞典』中部日本教育文化会
—— 2001 『辞書編纂のダイナミズム——ジョンソン、ウェブスターと日本——』辞游社
- 荒川清秀 1997 『近代日中学術用語の形成と伝播——地理学用語を中心に』白帝社
—— 1998 「ロブシャイト英華字典の訳語の来源をめぐって」『文明21』創刊号 愛知大学国際コミュニケーション学会
- 南出康世 1998 『英語の辞書と辞書学』大修館
- 杉本つとむ 1999 『杉本つとむ著作選集8 日本英語文化史の研究』八坂書房
- 宮田和子 1999 「井上哲次郎『訂増英華字典』の典拠——増補訳語を中心に——」『英学史研究』第32号 日本英学史学会
—— 2000 「井上哲次郎『訂増英華字典』の典拠——動詞の自他、分詞、付録を中心に——」『或問』第1号 近代東西言語文化接触研究会

付記：本稿は国語学会 2001 年度秋季大会における発表の一部に加筆修正したものである。発表後、古田東朔先生から数々の貴重なご教示をいただいた。ご芳情ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。